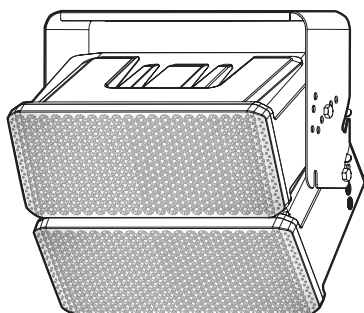




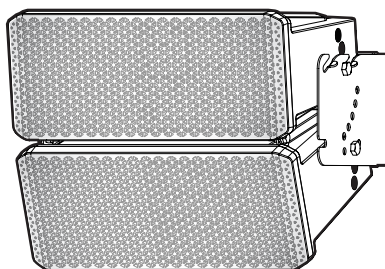
全天候型アレイスピーカー アレイスピーカー

型名 **PS-S118**
PS-S318

取扱設置説明書



＜天井設置の場合＞



＜壁設置の場合＞

PS-S118は、防水重耐塩仕様、非常放送対応、ハイインピーダンス仕様です。PS-S318は、ローインピーダンス仕様です。

－お買い上げありがとうございます－

ご使用前に、この「取扱設置説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

この取扱設置説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

■ 本書の記載内容について

- 本機はスピーカーが2台連結されています。以後、スピーカーを2台連結している状態を「スピーカーシステム」と呼びます。
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。

もくじ

■ はじめに

- 安全上のご注意 2
正しくお使いいただくためのご注意 4

■ 設置・接続

- 設置前の準備 4
壁面に設置する 5
天井に設置する 7
落下防止ワイヤーを取り付ける 9
接続をする 9

■ その他

- スタンドに設置する（応用） 10
推奨イコライジング 10
仕様 10
保証とアフターサービス 11
免責について 12
点検について 12

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明



注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



警告

異常が発生したとき

スピーカーから煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生したときは、そのまま使用しない

このようなときは、すぐにパワーアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となります。

煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



設置について

設置の際は必ず販売店に相談する

天井や壁面への設置工事は、専門的な技術が必要になります。正しく設置されないと、落下したりして、けがや事故の原因になります。設置工事は、必ずお買い求めいただいた販売店にご相談ください。



不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いた所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。



本機の上に重いものを置かない

重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。



天井や壁面に取り付ける機器については、機器の重量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付ける

PS-S118の質量は約17.7kg、PS-S318の質量は約16.6kgです。（スピーカーホルダー込み）

化粧合板、石膏ボード、プラスターボードなど、材質に強度が足りない場合は、補強材（ベニヤ合板など）を当てて補強してください。補強が不十分な場合は、落下し、けがの原因となります。



必ず、アンプの電源を切ってから設置、接続を行う

アンプの電源を切らずに作業を行うと、感電の原因となることがあります。



取り付ける前に本機に異常がないか確認する

本機の樹脂部やキャビネットにひび割れや変形などの異常が発見された場合は、そのまま取り付けしないで交換してください。長期使用での破損や落下事故の原因となります。



取り扱いについて

内部に物を入れない

金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。



本機を分解したり、改造しない

内部には電圧の高い部品があり、火災や感電、落下事故の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



風呂場など水のある場所で使わない（PS-S318のみ）

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときはご注意ください。



この器機の上に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



長時間、音がひずんだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



スピーカー入力線やワイヤーを引っ張らない

スピーカー入力線 (PS-S118 のみ) や、上下のスピーカーをつないでいるワイヤーは引っ張らないでください。
防水性能が落ちたり、抜けてけがの原因となることがあります。



注意

設置について

次のような場所に設置しない

火災や感電、本機の落下の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- 火気、熱器具の近くなど
- 可燃性、引火性、揮発性ガスなどがあるところ
- 屋内プールなどの塩素雰囲気さらされるところや、温泉などの腐食性ガスが発生するところ
- 直接、海水がかかるところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 粉じんの発生するところ
- 強い振動のある場所



移動するときは、重いので必ず2人以上で持つ

けがの原因になることがあります。



移動するときは、機器の下側を持つ

本機を移動するときは、スピーカーシステムの下側を持ってください。下側以外（本体側面と金具の間や上側スピーカーと下側スピーカーの間）を持つと指などを挟み、けがの原因となることがあります。



指のケガに注意

取り付けねじやナットで締め付ける箇所がある機器は、締め付けを確実に行う

重締め付けが不確実だと落下する原因となります。また、台風や暴風雨など悪天候のあとには、ねじの緩みがないか点検し、落下の危険がないことを確認してください。



落下防止ワイヤーを正しく取り付ける

落下防止ワイヤーは、必ず確実に取り付けてください。取り付け後は、ボルトやナット、ねじの緩みなどがいないことを必ず確認してください。



取扱設置説明書に記載されていることに従って設置する

取扱設置説明書に従わない不完全な取り付けにより発生した事故や損害については、当社は責任を負いかねますので、設置には十分な注意をお願いします。



取り扱いについて

梱包箱や梱包袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない

遊びに使ったりすると、けがや窒息の原因となることがあります。

梱包箱・梱包袋は、施工後に回収してください。



点検について

定期的に点検を行う

火災や感電、本機の落下の原因となることがあります。必ず1年に一度は、スピーカーが確実に設置されていることを確認してください。



正しくお使いいただくため にご注意

使用に関するお願い

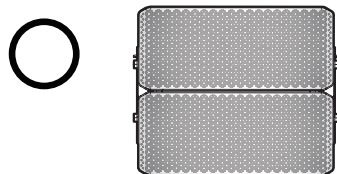
- 安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店（施工業者）による点検をおすすめします。
- 本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、不具合がないことを日常的に確認してください。
- 本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境（熱、湿気、ほこりなど）の影響や使用の度合いにより部品が劣化している可能性があります。故障したり、事故につながったりすることもありますので、不具合がないことを日常的に確認してください。特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店（施工業者）に相談してください。
- 下記のような状態になっている場合は、ただちに使用中止し故障や事故防止のため、電源を切り必ず販売店（施工業者）またはサービス窓口へ点検または撤去を依頼してください。
 - 煙が出たりこげくさいにおいや異常な音がしたりする。

- ・製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- ・電源を入れても、音が出てこない。
- ・取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- ・取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- ・本機および取付部に破損や著しいさびがある。
- ・本機を使用せずに放置している。
- ・その他の異常・故障がある。

設置時のご注意

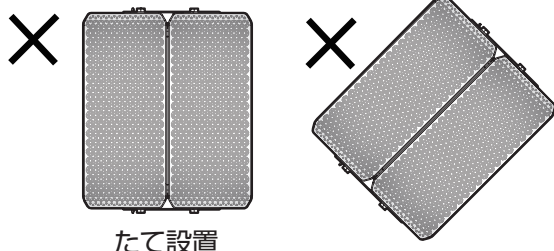
- 設置作業は、設置後の安全に関わる重要な作業です。設置中および設置後の事故を防ぐため、工事は販売店（施工業者）または専門業者に依頼してください。
- 雪の落下が予想されるような軒下に取り付けしないでください。
- スピーカーを大音量で鳴らすと、壁や天井の構造によっては振動して音質を損ねる場合があります。壁や天井を補強し、振動の発生を防止してください。
- スピーカーの開口部分に直接物を当てないでください。異常音や故障の原因となります。
- 落下防止ワイヤーは、必ず確実に取り付けてください。取り付け後は、ボルトやナットの緩みなどがないことを必ず確認してください。
- スピーカー前面を上に向けて設置しないでください。PS-S118では、スピーカーの振動板に水が溜まり故障の原因となります。

<正しい設置>



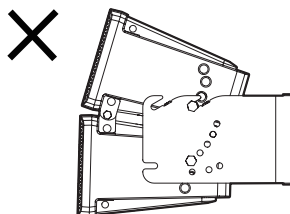
横設置

<誤った設置>



たて設置

斜め設置



上向き設置

接続時のご注意

- 複数のスピーカーを使用する場合、使用するすべてのスピーカーの極性を必ず合わせてください。
- 接続するスピーカーの合成インピーダンスは、使用するパワーアンプの負荷インピーダンス以上になるようにしてください。
- 本機の定格入力を超えた過大入力を入れ続けしないでください。

お手入れについてのご注意

- キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとってください。
- シンナーやベンジン、塩素系洗剤、殺虫剤など揮発性の物をかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットの塗装が変質したり、はがれるなどの原因となります。

設置前の準備

スピーカーシステムの垂直指向角度を決める

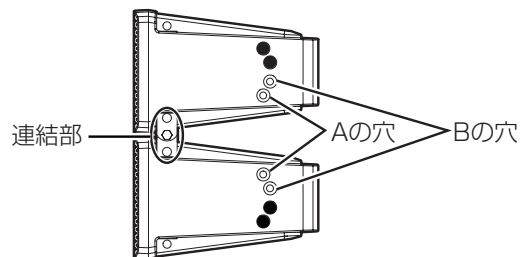
垂直指向角度を 15 度または 30 度で 사용할 ことができます。使用しないボルト穴に付属のボルト穴キャップを取り付けてください。

■ 垂直 15 度で使用する場合

(指向特性：水平 100 度、垂直 15 度)

A の穴：こちらの穴を使用します。

B の穴：付属のボルト穴キャップを取り付けます。(左右両面)

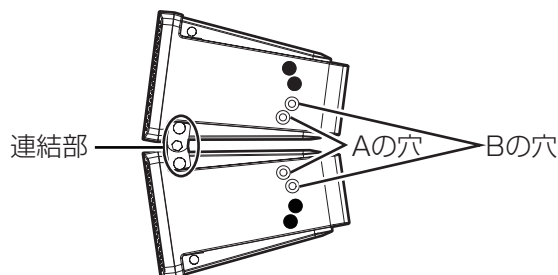


■ 垂直 30 度で使用する場合

(指向特性：水平 100 度、垂直 30 度)

A の穴：付属のボルト穴キャップを取り付けます。(左右両面)

B の穴：こちらの穴を使用します。



ご注意

- 連結部のボルト（左右両面）は緩んだ状態で梱包されています。
- 連結部のボルト（左右両面）は絶対にはずさないでください。落下の原因となります。
- 連結部を固定するまでは、指の挟みこみに注意してください。
- 使用しない穴に必ずキャップを取り付けてください。キャップを取り付け忘れと、水が入り込み、故障の原因となります。

壁面に設置する

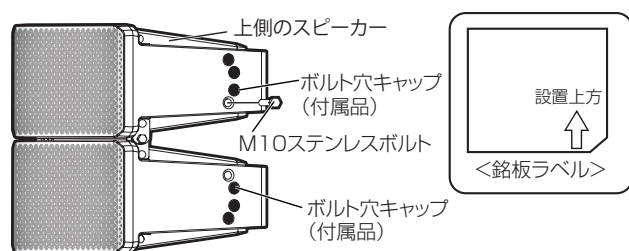
壁面に設置するための準備をする

「スピーカーシステムの垂直指向角度を決める」（[P.4](#) ページ）の後に実施してください。

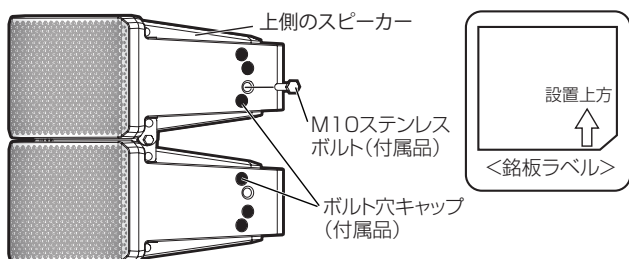
■ スピーカーホルダーの溝部に引っ掛けるためのボルトを取り付ける（壁面の場合）

上側のスピーカーの穴（垂直指向角度が 15 度、30 度で異なる）に、必ず付属の M10 ステンレスボルトを使用してください。M10 ステンレスボルトをスピーカー側面から平ワッシャーまでは約 15mm 程度になるまでねじ込みます。（左右両側）

垂直 15 度で使用する場合



垂直 30 度で使用する場合

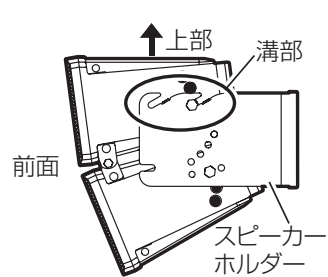


メモ

- 背面の銘板ラベルに設置上方向の矢印が記載されています。設置するときの参考にしてください。

■ スピーカーホルダーの取り付け向きを確認する

スピーカーホルダーの溝部がスピーカーシステム上部を向くように取り付けます。



水平角度調整用のスピーカーハンガー（別売）を取り付ける

水平方向の角度調整をしたい場合は、別売のスピーカーハンガー（PS-U18）を取り付けてください。

取り付け方法は、スピーカーハンガー（PS-U18）の「取扱設置説明書」をご覧ください。

ご注意

- スピーカーハンガー（PS-U18）は、壁への取り付けのみにお使いいただけます。壁以外の場所には使用しないでください。

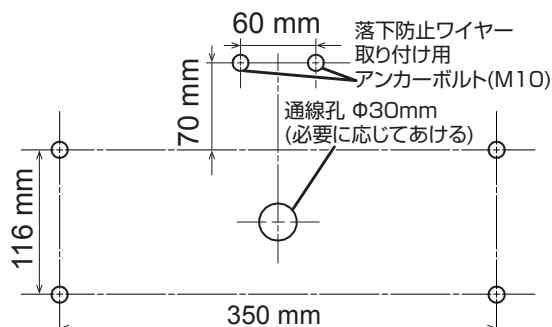
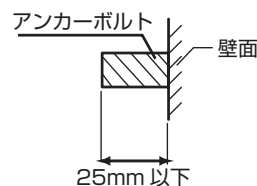
スピーカーホルダーを設置場所に取り付ける

1. 壁にアンカーボルトを打つ

下図の寸法で壁にアンカーボルトを取り付けてください。

ご注意

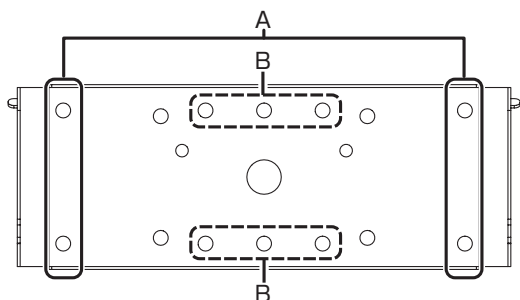
- アンカーボルト（M12）で設置する場合は、天井より 300mm 以上はなしてください。ボルト長は壁面より 25mm 以下にしてください。25mm を超えると、アンカーボルトがスピーカーシステムにぶつかり取り付けができなくなる場合があります。



<次のページにつづく>

壁面に設置する（つづき）

2. スピーカーホルダーを壁面に取り付ける。



A の4つの穴をすべて使用して、壁面に取り付けてください。

ご注意

- B の取付穴を使って壁面に設置する場合、必ず A の取付穴（4つ）も使って設置してください。B の取付穴だけで設置した場合、スピーカーシステムがふらつくことがあります。
- 必ず緩み防止を施してください。

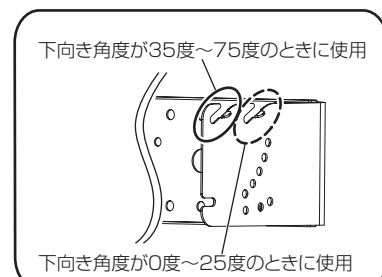
スピーカーシステムを取り付ける

ご注意

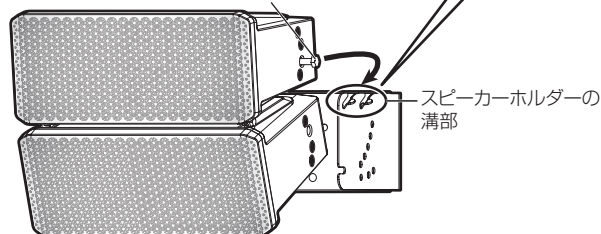
- スピーカーを引っ掛けた状態で持ち上げるときに、スピーカーホルダーの溝部から引っ掛けたボルトがはずれないよう、十分注意してください。
- すべてのスピーカーのバッフル面が水平より下向きになるように設置してください。
- 溝部と穴の取り付けの組み合わせを間違えると、スピーカーのバッフル面が水平より上向きになり、雨水などが入りやすくなるため故障の原因となります。

1. スピーカーホルダーの溝部に、「スピーカーホルダーの溝部に引っ掛けるためのボルトを取り付ける（壁面の場合）」（5 ページ）で取り付けした M10 ステンレスボルトを引っ掛ける。（左右両側）

手順3の下向きの角度によって、右上の図のとおり M10 ステンレスボルトを引っ掛ける溝部が異なります。



M10 ステンレスボルト



2. 入力線の接続をする

「接続をする」（9 ページ）を参照いただき、入力線をスピーカーシステムへ接続してください。

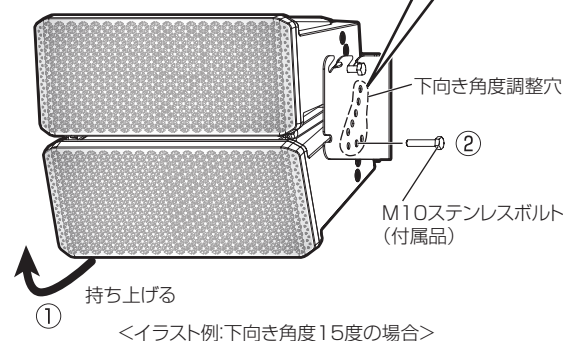
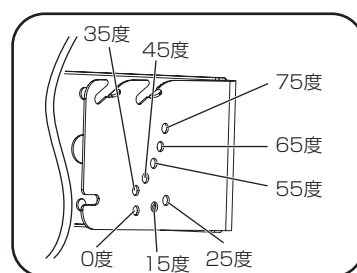
ご注意

- 上側のスピーカーだけで引っ掛けた状態で放置せず、結線が終わり次第、手順3に進んでください。

3. スピーカーシステムの下向きの角度を決め、スピーカーシステムとスピーカーホルダーを固定する

ご注意

- 下向きの角度は水平を基準にしています。
- PS-S118 の場合、下向き角度 0 度（正面向き）で使用しないでください。下向き角度 15 度以上で設置してください。下向き角度 0 度で使用すると、内部に水が入り、故障の原因となります。



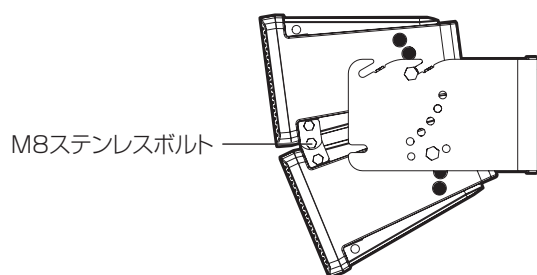
＜イラスト例: 下向き角度15度の場合＞

① 地面側のスピーカーを持ち上げ、該当する角度の下向き角度調節穴と、地面側のスピーカーの穴を合わせます。

② 付属の M10 ステンレスボルトでしっかりと留めます。
(左右両側)

4. スピーカーホルダーに引っ掛けた M10 ステンレスボルトを増し締めする。(左右両側)

5. 連結部の M8 ステンレスボルトを増し締めする。



すべてのボルトに緩みがないことを確認してください。

<「落下防止ワイヤーを取り付ける」(9 ページ)につづく>

天井に設置する

天井に設置するための準備をする

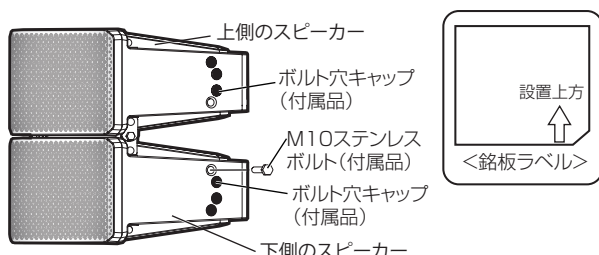
「スピーカーシステムの垂直指向角度を決める」(4 ページ)の後に実施してください。

■ スピーカーホルダーの溝部に引っ掛けるためのボルトを取り付ける (天井の場合)

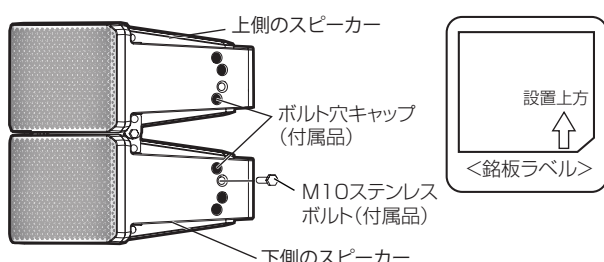
下側のスピーカーの穴 (垂直指向角度が 15 度、30 度で異なる) に、必ず付属の M10 ステンレスボルトを使用してください。M10 ステンレスボルトをスピーカー側面から平ワッシャーまでは約 15mm 程度になるまでねじ込みます。
(左右両側)

必ず付属の M10 ステンレスボルトを使用してください。

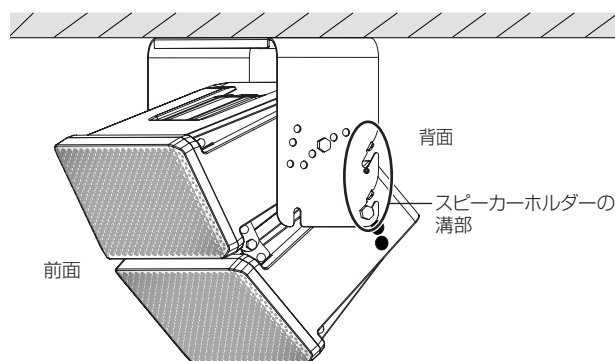
垂直 15 度で使用する場合



垂直 30 度で使用する場合



■ スピーカーホルダーの取り付け向きを確認する
スピーカーホルダーの溝部がスピーカーシステム背面を向くように取り付けます。



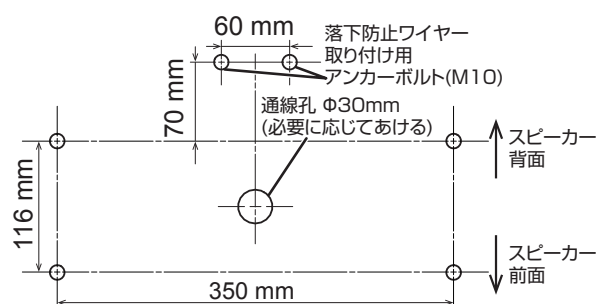
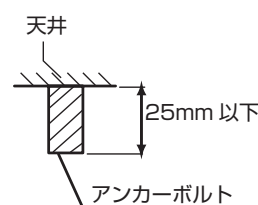
スピーカーホルダーを天井に取り付ける

1. 天井にアンカーボルトを打つ

下図の寸法で天井にアンカーボルトを打ってください。

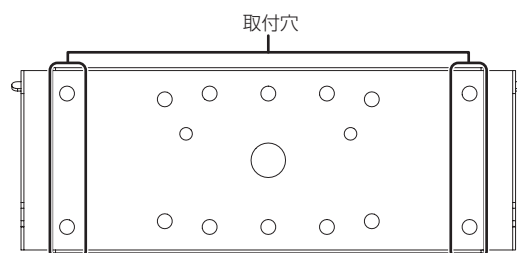
ご注意

- アンカーボルト (M12) で設置する場合は、壁面より 300mm 以上はなしてください。ボルト長は天井面より 25mm 以下にしてください。25mm 以上になると、アンカーボルトがスピーカーシステムにぶつかり取り付けができなくなる場合があります。



2. スピーカーホルダーを天井に取り付ける。

下図の取付穴を使って、スピーカーホルダーを天井に取り付けます。



<次のページにつづく>

天井に設置する（つづき）

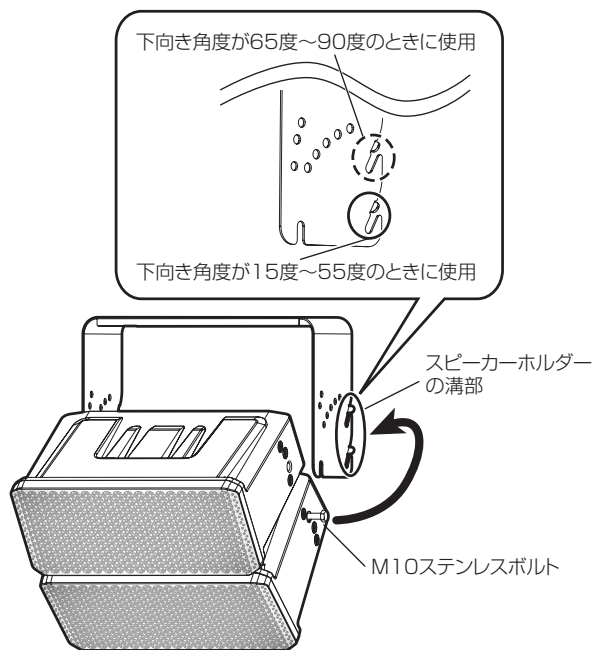
スピーカーシステムを取り付ける

ご注意

- スピーカーを持ち上げるときに、スピーカーホルダーの溝部から引っ掛けたボルトがはずれないよう、十分注意してください。
- すべてのスピーカーのバツフル面が水平より下向きになるように設置してください。
- 溝部と穴の取り付けの組み合わせを間違えると、スピーカーのバツフル面が水平より上向きになり、雨水などが入りやすくなるため故障の原因となります。

1. スピーカーホルダーの溝部に、「スピーカーホルダーの溝部に引っ掛けるためのボルトを取り付ける（天井の場合）」（[7 ページ](#)）で取り付けした M10 ステンレスボルトを引っ掛ける。（左右両側）

手順3の下向きの角度によって、下図のとおり M10 ステンレスボルトを引っ掛ける溝部が異なります。



2. 入力線の接続をする

「接続をする」（[9 ページ](#)）を参照いただき、入力線をスピーカーシステムへ接続してください。

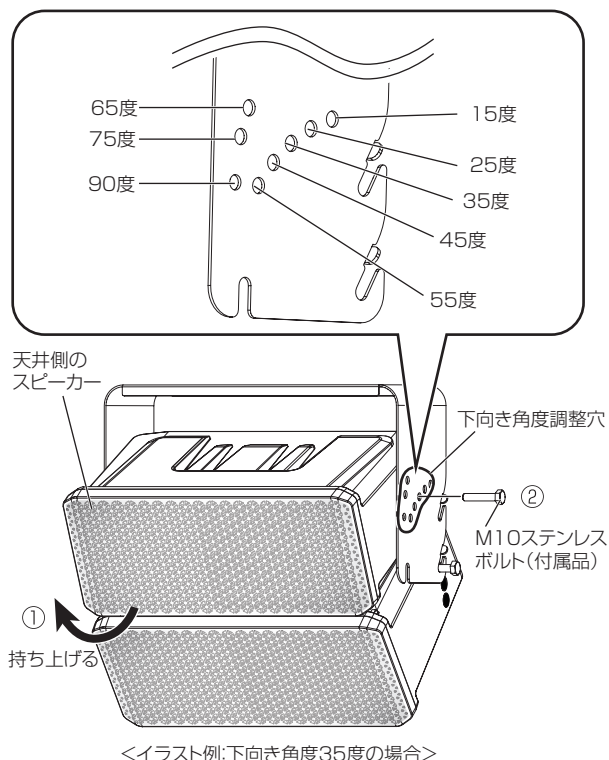
ご注意

- 下側のスピーカーだけで引っ掛けた状態で放置せず、結線が終わり次第、手順3に進んでください。

3. スピーカーシステムの下向きの角度を決め、スピーカーシステムとスピーカーホルダーを固定する

ご注意

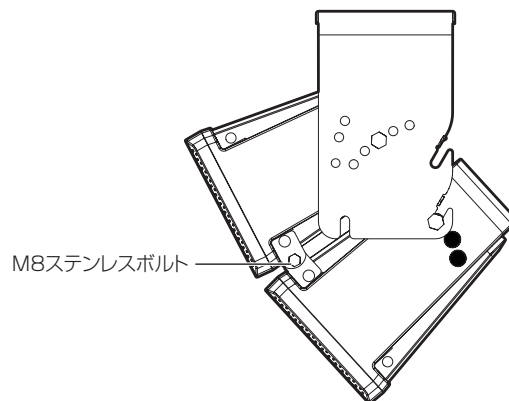
- 下向きの角度は水平を基準にしています。



- ① 天井側のスピーカーを持ち上げ、該当する角度の下向き角度調節穴と、地面側のスピーカーの穴を合わせます。
- ② 付属の M10 ステンレスボルトでしっかりと留めます。（左右両側）

4. スピーカーホルダーに引っ掛けた M10 ステンレスボルトを増し締めする。（左右両側）

5. 連結部の M8 ステンレスボルトを増し締めする。



すべてのボルトに緩みがないことを確認してください。

<「落下防止ワイヤーを取り付ける」（[9 ページ](#)）につづく>

落下防止ワイヤーを取り付ける

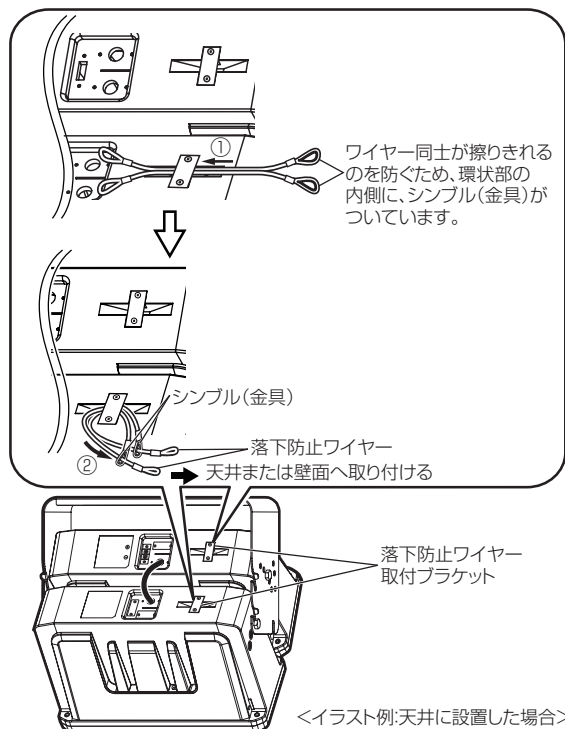
下図のように、天井側 / 地面側スピーカーのどちらか一方の落下防止ワイヤー取付ブラケットへ落下防止ワイヤー 2 本を通し、落下防止ワイヤー取付用アンカーボルト (2 ヶ所) に取り付けます。このとき、落下防止ワイヤー取り付け用アンカーボルトから遠いスピーカーの落下防止ワイヤー取付ブラケットへ通してください。

別売りのスピーカーハンガー (PS-U18) を使用する場合も、必ず落下防止ワイヤーを取り付けてください。

この場合は、落下防止ワイヤー取り付け用アンカーボルトに近いスピーカーの落下防止ワイヤー取付ブラケットへ落下防止ワイヤー 2 本を通し、落下防止ワイヤー取付用アンカーボルト (2 ヶ所) へ取り付けます。

ご注意

- 落下防止ワイヤーは必ず取り付けてください。
- 落下防止ワイヤーは、スピーカーシステムとスピーカーホルダーの質量、落下強度に十分耐えられるものを使用し、十分な強度を持ったところに取り付けてください。
- 落下防止ワイヤー (ステンレス製: $\phi 2.5\text{mm}$) は、PS-S318 のみに付属しています。PS-S118 には付属していませんので、PS-S118 本体の質量に十分耐えられる強度を持ったものをご使用ください。PS-S118 本体の質量は約 14.7kg (スピーカーホルダー込み: 約 17.7kg) です。



① シンプル (金具) がついていない方を落下防止ワイヤー取り付けブラケットに通します。

② ① で通した落下防止ワイヤーをシンプルのついている輪っかに通します。

接続をする

- 複数のスピーカーをアンプに接続する場合は、必ずすべてのスピーカーの +、- の極性を合わせ、並列接続にしてください。
- 接続するスピーカーの合成インピーダンスがアンプの許容負荷インピーダンス以上になるようにしてください。(スピーカーの合成インピーダンスがアンプの許容負荷インピーダンス以下になると、アンプの故障の原因となります。)

■ PS-S118 の場合

- スピーカーの入力線は白色、黒色、茶色、黄色の 4 本です。必要な入力に合わせて白色 - 黒色、白色 - 茶色、白色 - 黄色を選択し、アンプからのスピーカーラインに接続してください。
- 使用しない入力線は、絶縁テープで確実に絶縁してください。結線した入力線は、防水テープ (融着) を使用し、水が入らないようにしてください。

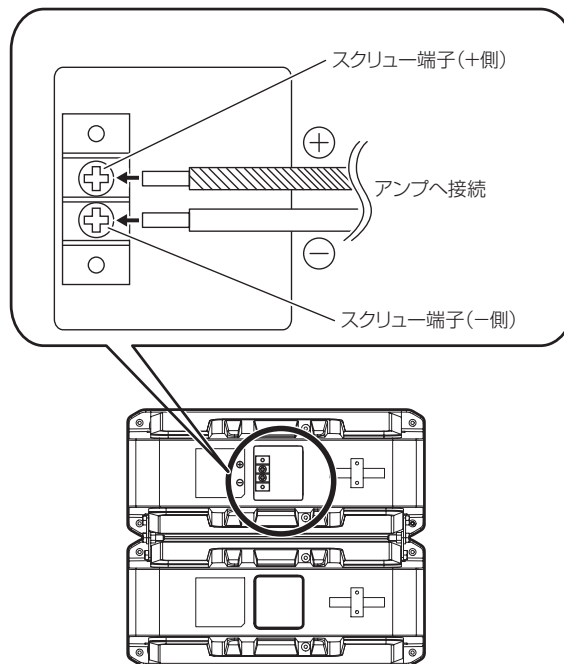
	COM	HOT
15W (670 Ω)	白	黄
30W (330 Ω)	白	茶
60W (167 Ω)	白	黒

■ PS-S318 の場合

アンプ出力の + とスクリー端子 (+ 側)、アンプ出力の - とスクリー端子 (- 側) を接続します。

ご注意

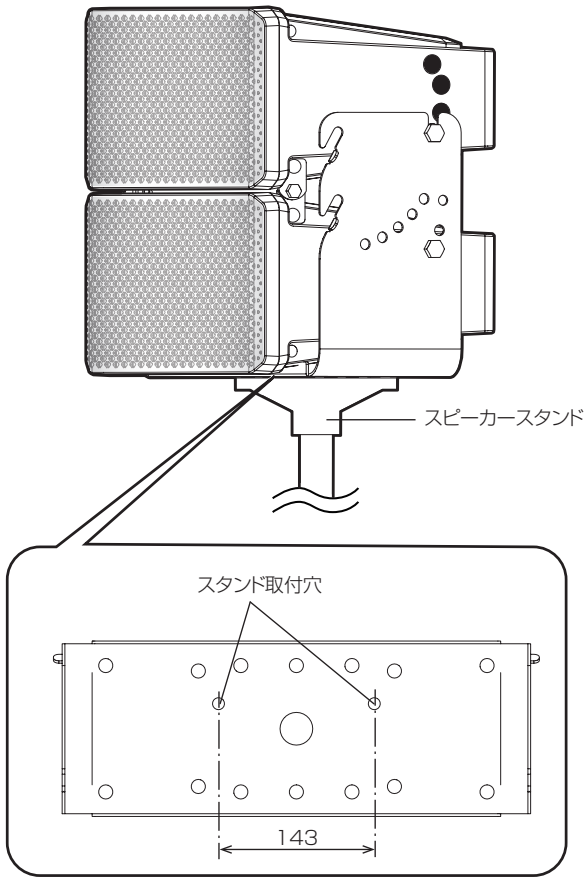
- PS-S318 に取り付けられているスクリー端子に、ハイインピーダンス用スピーカーラインを接続しないでください。故障の原因となります。



<「接続をする」(P.9 ページ) につづく>

スタンドに設置する（応用）

本機は、別売品のスピーカースタンドに下記のように取り付けることもできます。



ご注意

- スピーカースタンドは取付穴が適合し、十分な耐荷重のものをご利用ください。
- スピーカースタンドに取り付ける場合は、お客様にて M8 ボルト（長さ 50mm 以上 2 個）、ナット（2 個）をご用意いただき、スピーカーホルダーとスピーカースタンドを緩みの無いようしっかりと締め付けてください。
- スピーカーの角度は変更できません。設置できる角度は正面のみです。
- 設置する場所は、不安定な場所には置かないでください。必ず、平らな場所に置いてください。
- 風が強い時は、使用しないでください。

推奨イコライジング

以下のイコライジングに設定することで、より良い音質にてご利用頂けます。

160Hz	ゲイン： + 8.0dB	Low shelving
220Hz	ゲイン： - 5.0dB	Q： 2
1.4kHz	ゲイン： - 6.0dB	Q： 3
3.8kHz	ゲイン： - 15dB	Q： 4
6kHz	ゲイン： + 6.0dB	High shelving

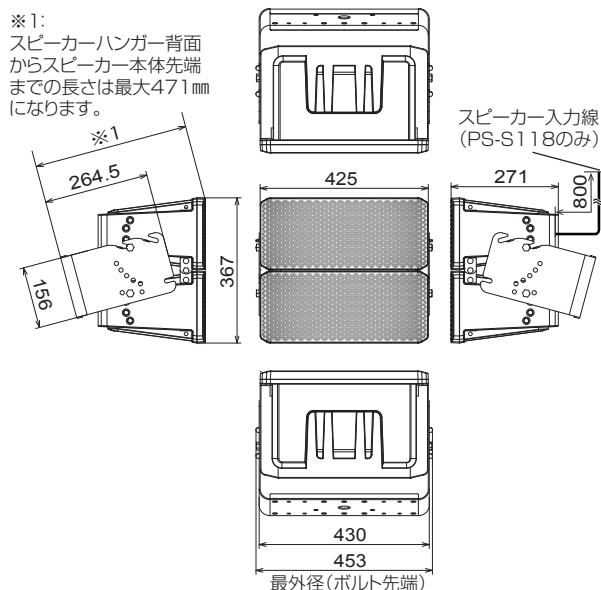
仕様

PS-S118 のみ： スピーカー種別：L 級（消防法施行規則に基づく種類） 音響パワーレベル：p=96 dB(1 W) 指向特性区分 = X		
	PS-S118	PS-S318
スピーカーユニット	16 cm コーン型（耐水・耐 UV）× 2、定指向性ホーン+行路長補正スロート+ 22 mm ドライバー× 2	16 cm コーン型× 2、定指向性ホーン+行路長補正スロート+ 22 mm ドライバー× 2
形式	バスレフ型キャビネットアレイ構成	バスレフ型キャビネットアレイ構成
定格入力	15 W、30 W、60 W	130 W
最大入力	—	260 W
出力音圧レベル	100 dB ± 2 dB / W (1 m)	100 dB ± 2 dB / W (1 m)
周波数特性	55 Hz ~ 20 kHz	55 Hz ~ 20 kHz
入力インピーダンス	670 Ω (15W) 330 Ω (30W) 167 Ω (60W)	8 Ω
水平／垂直指向角度	水平：120° 垂直：15°、30° （取付穴位置選択により変更可能）	水平：120° 垂直：15°、30° （取付穴位置選択により変更可能）
防水保護等級	IPX5 準拠（JIS C 0920）	—
重耐塩	対応	—
防球	対応（屋内設置時のみ）	対応（屋内設置時のみ）
質量	スピーカーホルダー込み：約 17.7 kg 本体のみ：約 14.7 kg	スピーカーホルダー込み：約 16.6 kg 本体のみ：約 13.6 kg
入力端子の種類	スピーカー入力線	スクリューターミナル
材質	キャビネット：PP 複合材 ブラケット：ステンレス 連結部：ステンレス	キャビネット：PP 複合材 ブラケット：ステンレス 連結部：ステンレス
本体仕上げ	耐 UV 黒色塗装（マンセル N1.5 近似）	耐 UV 黒色塗装（マンセル N1.5 近似）
オプション	スピーカーハンガー（JVC 製 PS-U18）	
付属品・添付物	取扱設置説明書（本書）..... 1 保証書..... 1 スピーカーホルダー..... 1 M10 ステンレスボルト..... 4 ボルト穴キャップ..... 4	取扱設置説明書（本書）..... 1 保証書..... 1 スピーカーホルダー..... 1 M10 ステンレスボルト..... 4 ボルト穴キャップ..... 4 落下防止ワイヤー..... 2

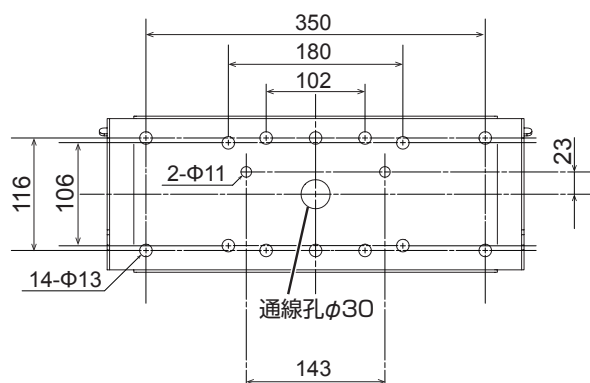
※ -：非該当
※ PS-S118 は海岸地域などの塩害の環境下での使用を想定した仕様ですが、完全な防錆を保証するものではありません。
使用環境によっては錆が発生します。

■ 外形寸法図 (単位: mm)

PS-S118 / PS-S318 共通



スピーカーホルダー



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

■ スピーカーシステムに振れ止めを取り付ける場合
壁面設置にて振れ止めを取り付ける場合は、スピーカーシステム側面(左右両面)の最上部のボルト穴(M10 ステンレスナット内蔵)のみご利用いただけます。
(ボルト穴キャップを外してご利用ください。取り付け可能なボルト長さは25mm～40mmです。)

保証とアフターサービス

■ 保証書の記載内容で確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。
その他詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料にて修理いたします。

■ サービス窓口

- ・ 下記 URL をご覧ください。
- ・ <https://jkpi.jvckenwood.com/support/repair/>
- ・ 業務用製品修理窓口 (045-939-7320)

■ サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

■ 修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調節で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店またはサービス窓口にご相談ください。

品名	: 全天候型アレイスピーカー アレイスピーカー
型名	: PS-S118、PS-S318
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状況をできるだけ具体的
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

■ 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

免責について

弊社はいかなる場合も次の事項に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
- お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など不便・損害・被害。
- お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
- 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことなどで被る不便・損害・被害。
- 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
- 本機の不良・不具合以外の事由（取付工事の不備、建屋側取付面の不良などを含む）による落下などによる不便・損害・被害。

点検について

■ 保守点検契約のお願い

本機を非常用放送設備として使用する場合は、消防法で定められた定期点検（法定点検）および消防機関への報告が義務づけられています。また、防火対象物の種類、規模によっては有資格者による点検が必要です。

非常用放送設備が正しく動作するために、保守点検契約の締結をお勧めします。保守点検契約の締結については、販売店（工事店）または販売会社にお問い合わせください。

■ 日常点検をしてください

万が一の際（非常時）、機器が正常に動作するよう日常点検を行なってください。

日常点検時に異常を発見した場合は、ただちに販売店にご連絡ください。

■ 必ず定期点検を行なってください

日常点検は機器の動作の一部だけを点検するもので、すべての点検を行うものではありません。必ず定期点検を行なってください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87
携帯電話  0570-010-114
一部のIP電話など 045-450-8950
FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>